

# 眞善美

学校教育目標「無限の可能性をひらく教育」

発行日 令和7年7月

小田原市立鴨宮中学校

責任者 長田 裕一郎

〒250-0874 小田原市鴨宮 547

[http://www.ed.city.odawara.kanagawa.jp/kamonomiya\\_c/](http://www.ed.city.odawara.kanagawa.jp/kamonomiya_c/)



## 避難訓練を行いました

6月10日(火)5校時、大規模な地震が発生し、大津波警報が発令された想定で避難訓練を実施しました。避難行動を開始してから各階3階への避難完了まで、10分を目標としていましたが、生徒たちが集中して取り組んだことにより、6分で避難を完了することができました。避難完了後も、整然と次の指示を待っています。

地震は、学校にいるときに発生するとは限りません。登下校時や家にいるときに発生することも、十分に考えられます。まずは「自分の身を守る」ことを優先し、堅固な建物の安全な階や高台へ迅速に避難し「いのち」を守りましょう。

地震は、学校にいるときに発生するとは限りません。登下校時や家にいるときに発生することも、十分に考えられます。まずは「自分の身を守る」ことを優先し、堅固な建物の安全な階や高台へ迅速に避難し「いのち」を守りましょう。

【参考】小田原市ホームページもご覧ください。



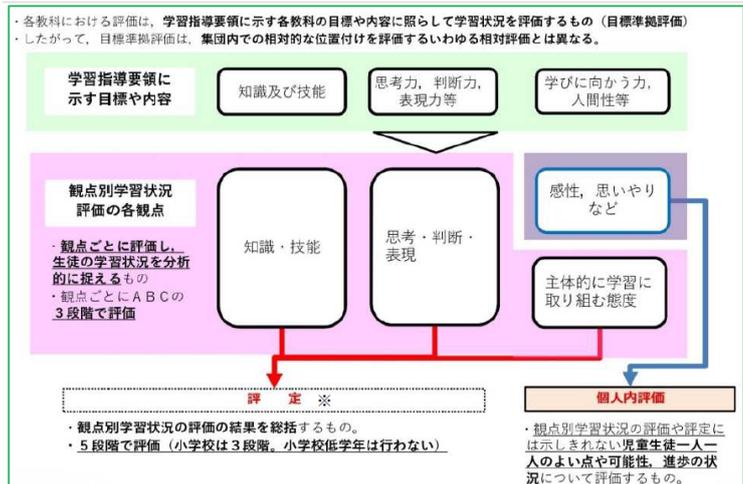
## 第1回定期テストに取り組みました



生徒たちは、6月12日(木)、13日(金)の2日間で、第1回定期テストに取り組みました。4月からの、国語、社会、数学、理科、外国語(英語)の学習について、自らの学びを振り返り、次の学びに生かし、見通しをもって取り組む、大切な機会となりました。

学校では、学習指導要領に基づいて授業等を行っています。学習指導要領では、(1)知識及び技能、(2)思考力、判断力、表現力等、(3)学びに向かう力、人間性等の「三つの柱」で示された資質・能力を育成することとされています。

学習評価の基本構造は、右の図のとおりです。そして、学習評価の意義は「教員が、指導の充実・改善を図る」「生徒自身が、自らの学習を振り返り、の学習に向かうことができるようにする」ことです。先生方は、定期テストに加え、論述やレポート作成、発表、グループでの話し合い、作品制作、発言、ノート記述、授業での取組状況等、評価方法を工夫して、指導と評価の一体化に努めています。



# 小田原版STEAM（スチーム）教育

小田原版STEAM教育とは、「各教科等で学んだことを統合的に働かせながら、地元・小田原の問題の解決に向けて、探究的・創造的な活動を行う学習」です。



6月24日（火）と7月1日（火）の5・6校時、CURIO SCHOOLから講師を3名お招きし、全学年で「STEAMミニ探究」の取組を行いました。目標は「クラスメイトの学校生活の困りごとを解決する方法を考え、解決するものをつくり出そう」。そして、学びの目的は「『小田原版探究のプロセス』を実践的に体験しながら、課題解決に必要なスキルの定着を図る」ことです。

生徒たちは、友だちの困りごとをインタビューし、本質的な課題をつかみ、その課題を解決するためのプロトタイプ（試作品）を段ボール等で作成します。

大切なことは、

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| ① 相手の意見を否定しない     | ② 「聞く」と「話す」は50：50 |
| ③ とにかく言ってみる、やってみる | ④ 不確実性を楽しむ        |
| ⑤ 人間中心の視点をもつ      |                   |

これらは、社会に出てからも生かせる学びのポイントといえます。

あわせて、教員は、講師の様子や生徒の変容を参観し、ファシリテーションの方法を学びます。ファシリテーションとは、「集団がもつ知的相互作用を促進する働きで、人が本来もっていた力を引き出し、相互にかけ合わせることで増幅し、集団の力を最大限に高めていくこと」です。これからの社会を生きる生徒の学びを充実するために、先生に求められている力であり、先生方も「グッドファシリテーター」をめざして、生徒と「ともに」学んでいます。



## 部活動壮行会



6月23日（月）5校時、小田原・足柄下地区総合体育大会等に向けた部活動壮行会が、生徒会主催で行われました。

各部活動から、これからのに向けての意気込みや、自分たちの取組に対する熱い思いが伝えられました。

私からは、次のことを伝えました。

- 鴨宮中学校 581 人の代表として、「誇り」や「プライド」をもって活動してほしい
  - 「結果」だけでなく「プロセス」を大切にしてほしい
  - 「感謝」の気持ちを忘れないでほしい
- いよいよ、熱い夏が始まりました！  
温かい応援を、お願いいたします。

## 未来へつながる学校

小田原市教育委員会の「地域とともにある学校づくり推進事業『未来へつながる学校づくり』」の予算を活用して、体育館西側の壁画のキャプションと、体育館奥のビオトープの看板を設置しました。ビオトープの看板をデザインしてくれたのは、3年1組の鈴木初寧さんです。

学校にお越しの際は、是非、ご覧ください。



「未来へ繋げる30のメッセージ」  
令和5年度在校生とかくれ文字絵作家、  
小林真澄さんのコラボレーション作品  
※制作費は、小田原市教育委員会から提供されています。



「未来へ繋げる30のメッセージ」  
令和5年度在校生とかくれ文字絵作家、  
小林真澄さんとのコラボレーション作品  
未来の中学生に伝えたい30の言葉を生徒達から募集し、  
小林真澄さんの作風の1つである「言葉笑顔」で表現しました。